



2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月10日

上場会社名 株式会社メディカルー光グループ 上場取引所 東
 コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 (氏名) 櫻井 利治 (TEL) 059(226)1193
 定時株主総会開催予定日 2020年5月27日 配当支払開始予定日 2020年5月1日
 有価証券報告書提出予定日 2020年5月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期の連結業績(2019年3月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	32,042	2.6	1,204	15.5	1,225	16.3	801	12.7
2019年2月期	31,222	1.0	1,043	△25.8	1,053	△23.9	711	△42.5

(注) 包括利益 2020年2月期 771百万円(59.0%) 2019年2月期 485百万円(△64.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年2月期	420.73	—	8.1	4.7	3.8
2019年2月期	371.90	—	7.5	4.1	3.3

(参考) 持分法投資損益 2020年2月期 ー百万円 2019年2月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	26,193	10,170	38.8	5,335.75
2019年2月期	26,206	9,551	36.4	5,011.02

(参考) 自己資本 2020年2月期 10,170百万円 2019年2月期 9,551百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	1,823	△375	△1,092	5,572
2019年2月期	516	△1,349	474	5,217

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年2月期	—	40.00	—	40.00	80.00	152	21.5	1.6
2020年2月期	—	40.00	—	45.00	85.00	162	20.2	1.6
2021年2月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00		18.9	

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,840	△1.4	490	△21.4	500	△20.9	340	△14.5	178.36
通期	32,430	1.2	1,240	2.9	1,250	2.0	805	0.4	422.30

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期	2,035,000株	2019年2月期	2,035,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期	128,817株	2019年2月期	128,817株
③ 期中平均株式数	2020年2月期	1,906,183株	2019年2月期	1,913,533株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明会について）

当社は、2020年4月10日に開催を予定しておりました決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）を、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況を受け、中止することいたしました。決算補足説明資料につきましては、当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
(1) 役員の移動	17
(2) その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、海外情勢の不安定化や新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、年初より景気の先行きは一変しております。

調剤薬局業界におきましては、2019年11月に可決された「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」(改正薬機法)により、薬局の認定制度導入、服薬指導の強化が示されるなど、薬局、薬剤師を取り巻く環境は大きく変化しております。当社グループは、安全性を最優先とし、薬剤師が期待される役割を果たし地域社会から信頼される薬局づくりに取り組んでおります。ヘルスケア事業におきましては、介護サービス利用者の増加に伴い、多様化するニーズに応える事業展開を行うとともに、安定的な介護人材の確保および介護サービスの質の向上に取り組んでおります。

このような事業環境のもと、当社は、2019年9月1日をもって株式会社メディカルー光グループに商号を変更し、持株会社に移行しました。「良質の医療・介護サービスをより多くの人に提供する」という理念のもと、事業環境の変化に柔軟に対応できる体制を構築し、さらなる成長と企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高32,042百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益1,204百万円(前年同期比15.5%増)、経常利益1,225百万円(前年同期比16.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、801百万円(前年同期比12.7%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、処方箋単価の上昇等により増収増益となりました。第35期における新規開局店舗は2店舗、閉局店舗は4店舗で、当連結会計年度末における当社グループの調剤薬局は、合計93店舗となっております。

この結果、売上高22,898百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益1,436百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、2019年4月に開設した看護小規模多機能型居宅介護事業所併設の住宅型有料老人ホームを中心に、継続的な入居者確保を推進し増収増益となりました。当連結会計年度末における当社グループの居住系介護施設は、28施設、1,025床となっております。

この結果、売上高6,357百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益400百万円(前年同期比51.4%増)となりました。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、新規取引先の開拓など積極的な営業活動により増収増益となりました。

この結果、売上高2,661百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益82百万円(前年同期比108.0%増)となりました。(内部売上を含む売上高は3,654百万円となり、前年同期比で7.5%増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高125百万円(前年同期比2.0%減)、営業利益48百万円(前年同期比34.5%増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益68百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として996百万円を消去するとともに、全社における共通経費として763百万円を計上しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は26,193百万円(前連結会計年度末比0.1%減)となり、負債合計は16,022百万円(前連結会計年度末比3.8%減)となりました。

流動資産の残高は12,183百万円となり、前連結会計年度末と比較して391百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が387百万円増加したこと等によるものです。

固定資産の残高は14,010百万円となり、前連結会計年度末と比較して405百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が98百万円増加したものの、のれんが196百万円、建設仮勘定が185百万円、建物及び構築物が154百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

流動負債の残高は7,999百万円となり、前連結会計年度末と比較して282百万円減少いたしました。また、固定負債の残高は8,022百万円となり、前連結会計年度末と比較して349百万円減少いたしました。負債合計で632百万円の減少となった主な要因は、未払法人税等が152百万円、流動負債のその他が93百万円それぞれ増加したものの、長期借入金(1年内返済予定を含む)が893百万円減少したこと等によるものです。

純資産の残高は10,170百万円となり、前連結会計年度末と比較して618百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が649百万円増加したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して355百万円増加し5,572百万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローが1,823百万円増加したこと、投資活動によるキャッシュ・フローが375百万円減少したこと、財務活動によるキャッシュ・フローが1,092百万円減少したことによるものです。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1,823百万円(前年同期比1,306百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,272百万円、減価償却費・のれん償却額825百万円、未払費用の増加69百万円などの増加要因と、法人税等の支払227百万円、たな卸資産の増加95百万円、売上債権の増加81百万円などの減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、375百万円(前年同期比974百万円の増加)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入412百万円などの増加要因と、有形固定資産の取得による支出451百万円、投資有価証券の取得による支出285百万円などの減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、1,092百万円(前年同期比1,567百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の純減少893百万円、配当金の支払152百万円等によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期
自己資本比率(%)	29.2	32.5	36.2	36.4	38.8
時価ベースの自己資本比率(%)	36.7	53.6	86.6	65.9	62.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	7.3	17.4	7.3	21.6	5.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	16.4	8.0	20.3	8.3	31.6

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー/利払い

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞、個人消費の低迷などにより、年初より景気の先行は一変し、その影響の予測は難しい状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、患者様および利用者様、ならびに社員と社員の家族の安全確保、感染拡大防止を最優先に取り組み、事業への影響を最小限に抑えるべく必要な対応を行ってまいります。

また、社会情勢を見極めながら新規出店やM&Aに取り組むとともに、各事業の収益性の向上を図ってまいります。

主力である調剤薬局事業におきましては「患者のための薬局ビジョン」で示される患者本位の医薬分業の実現に向けた施策を踏まえ、患者さまの視点に立った医療サービスを行い、地域社会から信頼される「かかりつけ薬局」づくりを目指してまいります。

ヘルスケア事業におきましては、居住系介護施設の入居者確保に注力するとともに介護サービス向上に努めてまいります。

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品使用促進策を背景に拡大する市場において、営業エリアの拡大と収益力強化を図ってまいります。

通期の連結業績は、売上高32,430百万円、営業利益1,240百万円、経常利益1,250百万円、親会社株主に帰属する当期純利益805百万円を見込んでおります。

なお、上記見通しにつきましては、新型コロナウイルスの終息時期等の様々な要因によって変動する可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,306,464	5,694,164
売掛金	4,579,617	4,660,787
商品	1,045,595	1,141,289
その他	863,956	690,571
貸倒引当金	△3,813	△3,282
流動資産合計	11,791,819	12,183,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,707,984	11,973,112
減価償却累計額	△5,243,678	△5,663,343
建物及び構築物(純額)	6,464,305	6,309,768
車両運搬具	184,292	172,615
減価償却累計額	△138,216	△124,307
車両運搬具(純額)	46,076	48,307
工具、器具及び備品	1,343,183	1,397,300
減価償却累計額	△1,093,206	△1,167,203
工具、器具及び備品(純額)	249,976	230,097
土地	3,215,180	3,158,317
建設仮勘定	425,432	240,314
有形固定資産合計	10,400,971	9,986,805
無形固定資産		
のれん	1,405,645	1,209,292
その他	164,993	164,195
無形固定資産合計	1,570,638	1,373,488
投資その他の資産		
投資有価証券	1,051,454	1,149,689
繰延税金資産	258,907	324,303
敷金及び保証金	753,974	739,583
その他	379,214	436,249
投資その他の資産合計	2,443,550	2,649,826
固定資産合計	14,415,160	14,010,120
資産合計	26,206,980	26,193,649

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	33,910	38,978
買掛金	3,328,583	3,332,745
短期借入金	35,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	3,639,690	3,099,860
未払法人税等	192,748	345,354
賞与引当金	217,120	219,351
その他	835,410	928,659
流動負債合計	8,282,464	7,999,950
固定負債		
長期借入金	7,131,074	6,777,703
リース債務	299,059	265,165
退職給付に係る負債	557,502	595,389
その他	384,941	384,516
固定負債合計	8,372,577	8,022,774
負債合計	16,655,042	16,022,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	7,922,959	8,572,458
自己株式	△280,002	△280,002
株主資本合計	9,397,006	10,046,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,313	115,134
退職給付に係る調整累計額	2,618	9,283
その他の包括利益累計額合計	154,931	124,418
純資産合計	9,551,938	10,170,924
負債純資産合計	26,206,980	26,193,649

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	31,222,175	32,042,454
売上原価	27,957,007	28,602,625
売上総利益	3,265,168	3,439,829
販売費及び一般管理費	2,221,898	2,234,999
営業利益	1,043,269	1,204,829
営業外収益		
受取利息	1,190	1,141
受取配当金	20,958	23,158
助成金収入	19,585	24,190
寄付金収入	12,583	—
その他	24,120	35,593
営業外収益合計	78,438	84,083
営業外費用		
支払利息	61,992	58,998
その他	6,464	4,535
営業外費用合計	68,457	63,533
経常利益	1,053,250	1,225,378
特別利益		
固定資産売却益	241	8,821
投資有価証券売却益	222,074	68,986
補助金収入	44,032	32,000
保険解約返戻金	13,278	—
特別利益合計	279,626	109,808
特別損失		
固定資産売却損	—	43
固定資産除却損	10,919	3,672
減損損失	108,544	25,729
固定資産圧縮損	44,032	32,000
投資有価証券売却損	116	—
賃貸借契約解約損	1,262	1,000
特別損失合計	164,874	62,445
税金等調整前当期純利益	1,168,002	1,272,742
法人税、住民税及び事業税	463,850	528,073
法人税等調整額	△7,496	△57,324
法人税等合計	456,353	470,749
当期純利益	711,649	801,993
親会社株主に帰属する当期純利益	711,649	801,993

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純利益	711,649	801,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△227,287	△37,178
退職給付に係る調整額	839	6,665
その他の包括利益合計	△226,447	△30,512
包括利益	485,201	771,480
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	485,201	771,480

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	917,000	837,050	7,364,596	△199,317	8,919,329
当期変動額					
剰余金の配当			△153,286		△153,286
親会社株主に帰属する当期純利益			711,649		711,649
自己株式の取得				△80,685	△80,685
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	558,362	△80,685	477,677
当期末残高	917,000	837,050	7,922,959	△280,002	9,397,006

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	379,600	1,778	381,378	9,300,708
当期変動額				
剰余金の配当				△153,286
親会社株主に帰属する当期純利益				711,649
自己株式の取得				△80,685
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△227,287	839	△226,447	△226,447
当期変動額合計	△227,287	839	△226,447	251,230
当期末残高	152,313	2,618	154,931	9,551,938

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	917,000	837,050	7,922,959	△280,002	9,397,006
当期変動額					
剰余金の配当			△152,494		△152,494
親会社株主に帰属する当期純利益			801,993		801,993
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	649,498	—	649,498
当期末残高	917,000	837,050	8,572,458	△280,002	10,046,505

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	152,313	2,618	154,931	9,551,938
当期変動額				
剰余金の配当				△152,494
親会社株主に帰属する当期純利益				801,993
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△37,178	6,665	△30,512	△30,512
当期変動額合計	△37,178	6,665	△30,512	618,986
当期末残高	115,134	9,283	124,418	10,170,924

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,168,002	1,272,742
減価償却費	657,538	634,000
減損損失	108,544	25,729
のれん償却額	191,905	191,905
貸倒引当金の増減額(△は減少)	96	△351
賞与引当金の増減額(△は減少)	△930	2,230
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	53,063	47,451
受取利息及び受取配当金	△22,149	△24,299
支払利息	61,992	58,998
投資有価証券売却損益(△は益)	△221,957	△68,986
固定資産売却損益(△は益)	△241	△8,778
固定資産除却損	10,919	3,672
賃貸借契約解約損	1,262	1,000
売上債権の増減額(△は増加)	△231,209	△81,169
たな卸資産の増減額(△は増加)	130,540	△95,693
仕入債務の増減額(△は減少)	△202,333	9,229
未払費用の増減額(△は減少)	7,802	69,954
預り保証金の増減額(△は減少)	4,324	△523
その他	△257,794	48,561
小計	1,459,376	2,085,673
利息及び配当金の受取額	20,917	23,147
利息の支払額	△61,898	△57,684
法人税等の支払額	△901,929	△227,812
営業活動によるキャッシュ・フロー	516,465	1,823,323
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,084,371	△451,672
有形固定資産の売却による収入	250	71,504
無形固定資産の取得による支出	△14,627	△29,606
投資有価証券の取得による支出	△173,826	△285,214
投資有価証券の売却による収入	520,570	412,457
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△713,406	—
長期前払費用の取得による支出	△1,652	△32,068
敷金及び保証金の差入による支出	△9,378	△3,296
敷金及び保証金の回収による収入	54,731	17,691
その他	71,992	△74,820
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,349,719	△375,027

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15,000	—
長期借入れによる収入	5,108,000	3,050,000
長期借入金の返済による支出	△4,356,442	△3,943,200
リース債務の返済による支出	△57,728	△47,001
自己株式の取得による支出	△80,685	—
配当金の支払額	△153,286	△152,494
財務活動によるキャッシュ・フロー	474,858	△1,092,696
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△358,394	355,598
現金及び現金同等物の期首残高	5,575,443	5,217,048
現金及び現金同等物の期末残高	5,217,048	5,572,647

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」93,277千円を「投資その他の資産」の「繰延税金資産」258,907千円に含めて表示し、「流動負債」の「その他」835,490千円のうち79千円を「固定負債」の「その他」384,941千円に含めて表示し、「流動負債」の「その他」は835,410千円と表示しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺表示しており、変更前と比べて総資産が7,916千円減少しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、調剤薬局を経営する「調剤薬局事業」、居住系介護施設・通所介護事業所・訪問介護事業所の運営、医療施設等の賃貸業務及び医療・介護に付随する業務を行う「ヘルスケア事業」、医療機関等への医薬品の販売を行う「医薬品卸事業」、一般不動産の賃貸業務を行う「不動産事業」について、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、事業形態を基礎とした、「調剤薬局事業」、「ヘルスケア事業」、「医薬品卸事業」、「不動産事業」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースで集計しております。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への売上高	22,452,871	6,089,619	2,551,713	127,970	31,222,175	—	31,222,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	365	848,076	3,120	851,562	△851,562	—
計	22,452,871	6,089,985	3,399,790	131,090	32,073,738	△851,562	31,222,175
セグメント利益	1,429,581	264,433	39,883	36,202	1,770,100	△726,830	1,043,269
セグメント資産	8,334,544	8,633,163	1,315,192	1,455,507	19,738,407	6,476,490	26,214,897
その他の項目							
減価償却費 (注) 3	176,383	401,644	9,303	28,189	615,520	37,787	653,308
減損損失	—	6,290	—	102,254	108,544	—	108,544
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	165,845	422,426	51,520	293	640,085	408,372	1,048,458

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△726,830千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用831,253千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額6,476,490千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産8,333,038千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への売上高	22,898,374	6,357,586	2,661,075	125,417	32,042,454	—	32,042,454
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	365	993,365	2,520	996,250	△996,250	—
計	22,898,374	6,357,952	3,654,440	127,937	33,038,705	△996,250	32,042,454
セグメント利益	1,436,046	400,474	82,959	48,698	1,968,178	△763,349	1,204,829
セグメント資産	8,277,321	8,796,093	1,255,860	1,291,357	19,620,633	6,573,016	26,193,649
その他の項目							
減価償却費 (注) 3	153,356	397,349	11,874	22,824	585,405	48,595	634,000
減損損失	25,729	—	—	—	25,729	—	25,729
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	104,390	23,131	2,769	—	130,290	175,388	305,679

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△763,349千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,132,367千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- (2) セグメント資産の調整額6,573,016千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産12,589,992千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
- (3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業		
当期償却額	155,476	34,093	2,335	—	—	191,905
当期末残高	1,065,161	300,577	39,906	—	—	1,405,645

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業		
当期償却額	155,476	34,093	2,335	—	—	191,905
当期末残高	905,238	266,484	37,570	—	—	1,209,292

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)		当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	
1株当たり純資産額	5,011円02銭	1株当たり純資産額	5,335円75銭
1株当たり当期純利益金額	371円90銭	1株当たり当期純利益金額	420円73銭

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
純資産の部の合計額(千円)	9,551,938	10,170,924
純資産の部から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る純資産額(千円)	9,551,938	10,170,924
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,906,183	1,906,183

- 3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純利益(千円)	711,649	801,993
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	711,649	801,993
普通株式の期中平均株式数(株)	1,913,533	1,906,183

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 退任予定監査役

常勤監査役 柴高 旦
常勤監査役 大西 登志和

② 新任監査役候補者

常勤監査役 福島 隆司 (現 上席執行役員 グループ監査・管理室担当)
社外監査役 久木 邦彦 (現 イオン(株)顧問)

③ 異動予定日

2020年5月27日

(2) その他

該当事項はありません。